

2021年度 日本工学院専門学校											
情報ビジネス科											
ブランドマーケティング											
対象	2年次	開講期	前期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	兒玉 奉恵			実務 経験	有	職種	海外イベント会社勤務				
授業概要											
<p>トレンドは「傾向・動向・流行」という意味になる。ビジネスにおけるトレンドは消費者の動向予測や、次にきそうなビジネスチャンスという意味合いで使われる。今までにない価値観で社会に貢献する新しいビジネスを展開し、顧客のニーズにマッチすることで、市場は大きくなり、売上と比例して業績を上げている企業も多く存在する。</p> <p>将来の顧客の市場を考え新しいビジネス市場を展開することは必要なことである。</p> <p>についてはブランディングを高める取組みについて理解を深める。</p>											
到達目標											
<p>ここ数年で業績を大きく伸ばした企業の販売・経営戦略を学びながら、これまでにない新しいビジネススタイルを考え、それに伴うSWOT分析（Strengths（強み）・Weaknesses（弱み）・Opportunity（機会）・Threat（脅威））を行う。内部環境や外部環境について分析を行い、方向性や改善策を洗い出し、戦略へとつなげる。</p> <p>企業活動のうち、商品・サービスそのものの企画・開発・設計やブランディングから、市場調査・分析、価格設定、広告・宣伝・広報、販売促進、流通、マーチャンダイジング、店舗・施設の設計・設置、（いわゆる）営業、集客、接客、顧客の情報管理等に至る広い範囲においてのマーケティング手法を理解することを目標とする。</p>											
授業方法											
<p>業績を伸ばした様々な企業の、販売経営戦略を説明（逆に下降した企業も）し、グループワークを介して、自らが考えたビジネススタイルに基づき、SWOT分析を行い、方向性や改善策を洗い出し、戦略へとつなげる。</p>											
成績評価方法											
<p>試験・課題 80% 試験と課題を総合的に評価する 平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する</p>											
履修上の注意											
<p>この授業ではグループワークを行うので、積極的に参加すること。 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。</p>											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス 授業概要の説明、進め方、SWOT分析について理解する。										
第2回	企業紹介・説明（1） 業績を伸ばした（下降させた）企業の販売・経営戦略について理解できる										
第3回	企業紹介・説明（2） 業績を伸ばした（下降させた）企業の販売・経営戦略について理解できる										
第4回	企業紹介・説明（3） 業績を伸ばした（下降させた）企業の販売・経営戦略について理解できる										
第5回	企業紹介・説明（4） 業績を伸ばした（下降させた）企業の販売・経営戦略について理解できる										
第6回	グループワーク（1） 新しいビジネススタイルについてグループで話し合い・成果物作成ができる										

2021年度 日本工学院専門学校	
情報ビジネス科	
ブランドマーケティング	
第7回	グループワーク（2） 新しいビジネススタイルについてグループで話し合い・成果物作成ができる
第8回	グループワーク（3） 新しいビジネススタイルについてグループで話し合い・成果物作成ができる
第9回	グループワーク（4） 新しいビジネススタイルについてグループで話し合い・成果物作成ができる
第10回	グループワーク（5） 新しいビジネススタイルについてグループで話し合い・成果物作成ができる
第11回	グループワーク（6） 新しいビジネススタイルについてグループで話し合い・成果物作成ができる
第12回	グループワーク（7） 新しいビジネススタイルについてグループで話し合い・成果物作成ができる
第13回	グループワーク（8） 新しいビジネススタイルについてグループで話し合い・成果物作成ができる
第14回	発表会 新しいビジネススタイルについて発表ができる
第15回	まとめ これまでの授業の振り返り